

### 神戸支部・女性医師・歯科医師の会共催

## 「禁煙外来」研究会

神戸支部と女性医師・歯科医師の会は、6月12日に協会会議室で、神戸支部と共催で研究会「ドクターとナースの連携で明日からできる禁煙指導」を開催した。神戸大学大学院准教授の西村善博先生と神戸大学病院看護師の蓬莱節子氏を講師とし、66人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

### 禁煙外来開設の下準備に

今秋に禁煙外来の開設を予定しています。何から準備したらよいか、暗中模索しています。そのような折だったため、大変興味深く聴かせていただきました。

西村先生の講演はポイントを押さえた分かりやすい説明で、大変ためになりました。喫煙者も被害者、タバコの害をあえて言わないなど、目からうろこが落ちる内容で禁煙指導の奥深さを感じました。軽いタバコのからくりの話も面白く拝聴しました。疾患についても基礎から幅広く教えていただき、最後まで聞き逃がしたくない内容ばかりでした。

蓬莱看護師の講演は、具体的で禁煙外来の現状がよく伝わってきました。少ない職員数で多くの患者を見ておられることに驚きました。多忙な業務の毎日にもかかわらず、よく統計をとられ分析されており、すばらしいと思いました。指導方法を熟知された専門外来でも成功率が65～55%とお聞きし、禁煙治療の難しさを知りました。禁煙教室の実施方法など使わせていただきたい内容が盛りたくさんでした。喫煙者の心理や精神症状の話な



西村善博先生(左上)がタバコの害について、看護師の蓬莱節子氏(右上)が禁煙外来の実際について講演。

ど大変勉強になりました。

後日、講演の内容を職員に伝達しました。職員間で情報を共有し、何を準備すべきか考えるいいきっかけになりました。小規模診療所のため、事務職員の協力も必要です。職員の一人ひとりがいいサポーターにならねばならないと意思統一しました。

このような講演を聴く機会を与えてくださり、ありがとうございました。

今回の内容を無駄にすることなく、今後の禁煙指導に役立てていきたいと思えます。

【長田区 看護師 M・T】

### 神戸支部会員懇談会のお知らせ

日時 9月5日(日) 10時～ 会場 兵庫県保険医協会会議室

※雇用管理をテーマに嶺山洋子社労士を招き懇談会をおこないます。

ぜひご予約ください。

# 兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

230号

2010年7月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸ワコ生命海岸通ビル5F  
兵庫県保険医協会神戸支部 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

## 社保協 神戸市協議会

# 国保相談会に市民が行列



国保料が高すぎて払えないと相談する参加者(須磨区会場)

兵庫県社会保障推進協議会(社保協)の神戸市協議会が毎年神戸市各区で行っている、神戸市国保相談会に多数の市民が押し寄せ、相談まで1時間待ちとなる会場が続出した。

相談会は住民税や国保保険料が通知されるこの時期にあわせて行っているもので、今年で4回目。6月16日から25日までの間に、市内のべ19会場で、各区の社保協が市民からの相談に応じた。寄せら

れた相談件数は市全体で451件で、昨年を100件以上、上回った。

確定申告をしていないために住民税や国保保険料が高くなっている事例や「介護保険料が高すぎる」との声、「失業したのに前年所得にかけられるので保険料が払えない」などの労働問題を含めた相談が寄せられ、約4割の相談者の税金や保険料の負担が軽減できることが明らかとなった。

同会の大杖哲司事務局長は「政権交代後

### 〈投稿を募集しています〉

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや、主張などテーマはとれません。医科・歯科連携のアイデアなどお寄せください。

FAX078-393-1802 担当:田村まで

(1面から続く)

も、市民の生活がますます困難になっていることの反映ではないか」としている。

相談内容で特徴的なものは「前年までは住民税が非課税だったために、寡婦でも確定申告していなかった。今年は課税になり、介護保険料も高くなった」との事例で、確定申告で寡婦控除を行った結果、住民税が非課税になれば国保保険料も、介護保険料も下がるのがわかった。また、障害者手帳を持っているが、若いときの認定のままで、高齢化により障害が重くなっているとみられる事例もあった。

今年4月から新設された、失業した場合の国保保険料計算の減免規定に該当するとみられる相談もあった。同規定は、失業した場合は前年の所得を30%までカットして保険料を計算する特例だが、自己都合による離職は対象外で、離職理由によっては対象にならない。「長時間労働に



長田区会場でも51人が相談に訪れた

耐えられず自己都合で退職したが、なんとかならないか」との相談があり、「過度な時間外労働」は「正当な理由のある自己都合退職」となり減免対象になるため、自己都合でも内容をよく確認し、ハローワークで認定してもらうことが必要などと、相談員はアドバイスした。

同会と各区社保協には協会神戸支部が参加している。

## 神戸市会に陳情提出

### 後期高齢者医療制度即時廃止、 保険でより良い歯科医療実現を

神戸支部では、神戸市会の6月議会に、「後期高齢者医療制度をただちに廃止することを求める意見書採択を求める陳情」と「保険でよりよい歯科医療の実現の意見書採択を求める陳情」を提出した。後者は「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会との共同で取り組んだ。

陳情は、6月18日の環境福祉委員会で審議され、なでしこ歯科(長田区)の山

本和昭事務長が歯科医療の深刻な実態について陳述した。陳情はいずれも共産・新社会両党が趣旨に賛同し採択を主張するも、自民党、公明党、民主党、自民党神戸・たちあがれ日本、の各会派の反対により、「後期高齢者医療制度」は不採択、「歯科医療」は審議打切りとなった。

神戸支部では引き続き、両陳情の採択を目指して取り組みを強める。

#### 神戸支部の先生方へ

近隣の先生の休診・入院などの情報がありましたら、協会事務局(078-393-1817)田村までお知らせください。

## 職員接遇研修会

### ロールプレイで実践的に学んだ



神戸支部は7月3日に、職員接遇研修会「接遇の心得と外来での苦情・クレーム対応」を開催。大手前短期大学准教授の水原道子先生を講師に医師・歯科医師・スタッフ79人が参加した。

水原先生は、クレーム対応の基本について、ケーススタディーを用いて解説。「その態度は何だ!」と受付で怒鳴られたとき、「前と同じ診察内容なのになん

で今日は高いの?」と聞かれたときなどの効果的な対応の仕方について実践し「表情と心があれば敬語を使わなくてもクレームは出ない」と指摘した。

接遇の基本については挨拶の仕方、表情、話し方などチェックリストをつかって説明。また電話対応は、チェックリストにもとづき参加者もロールプレイを交えて実践的に学んだ。

(参加者からの感想文は次号掲載予定)

#### 開業医の手作り

### 健康情報 テレホンサービス

【7月テーマ】



フリーダイヤル

0120-979-451

- 月曜日 閉経後の性生活
- 火曜日 スポーツで歯を失わないために
- 水曜日 自動車事故による外傷性頸部症候群
- 木曜日 勃起不全(ED)とバイアグラ
- 金土日 旅行の時の注意点-特に病気をお持ちの方へ

